

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年12月16日 (2010.12.16)

【公開番号】特開2010-12361(P2010-12361A)

【公開日】平成22年1月21日 (2010.1.21)

【年通号数】公開・登録公報2010-003

【出願番号】特願2009-244525(P2009-244525)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月29日 (2010.10.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表示状態が変化可能な可変表示装置を有し、該可変表示装置の表示結果が予め定められた特定の表示態様になった場合に、遊技者に有利な特定遊技状態に制御可能な遊技機であって、

前記遊技機の遊技状態を制御する手段であって、前記可変表示装置における表示を制御するための指令情報を出力する遊技制御手段と、

該遊技制御手段から出力された前記指令情報にしたがって前記可変表示装置における可変表示を開始させた後表示結果を導出表示する制御を行なう可変表示制御手段とを含み、前記遊技制御手段は、

前記可変表示装置における可変表示の始動条件が成立したか否かを判別する始動条件判別手段と、

該始動条件判別手段により前記始動条件が成立した旨の判別がなされたことに基づいて、前記可変表示装置における可変表示の可変表示態様を決めるために必要となる所定の判定処理を行なう可変表示用判定処理手段と、

前記所定の判定処理の判定結果に基づいて決まる可変表示態様での可変表示制御を指令する前記指令情報を出力する指令情報出力手段とを含み、

該指令情報出力手段は、前記指令情報として、前記可変表示装置における可変表示を開始させるタイミングで、可変表示時間を特定可能な可変開始指令情報、および、表示結果を特定可能な表示結果指令情報を出力するとともに、表示結果を導出表示するタイミングで、導出表示指令情報を出力し、

前記可変表示制御手段は、前記可変開始指令情報が出力されたときに前記可変表示装置における可変表示を開始させる制御を行なうとともに、前記導出表示指令情報が出力されたときに表示結果を導出表示する制御を行ない、

前記指令情報出力手段は、前記始動条件判別手段により前記始動条件が成立した旨の判別がなされてから所定期間経過後に前記可変開始指令情報および前記表示結果指令情報を出力し、

前記可変表示用判定処理手段は、前記所定期間内に前記所定の判定処理の実行を完了させることを特徴とする、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

〔課題を解決するための手段〕

請求項1に記載の本発明は、表示状態が変化可能な可変表示装置を有し、該可変表示装置の表示結果が予め定められた特定の表示態様になった場合に、遊技者に有利な特定遊技状態に制御可能な遊技機であって、

前記遊技機の遊技状態を制御する手段であって、前記可変表示装置における表示を制御するための指令情報を出力する遊技制御手段と、

該遊技制御手段から出力された前記指令情報にしたがって前記可変表示装置における可変表示を開始させた後表示結果を導出表示する制御を行なう可変表示制御手段とを含み、  
前記遊技制御手段は、

前記可変表示装置における可変表示の始動条件が成立したか否かを判別する始動条件判別手段と、

該始動条件判別手段により前記始動条件が成立した旨の判別がなされたことに基づいて、前記可変表示装置における可変表示の可変表示態様を決めるために必要となる所定の判定処理を行なう可変表示用判定処理手段と、

前記所定の判定処理の判定結果に基づいて決まる可変表示態様での可変表示制御を指令する前記指令情報を出力する指令情報出力手段とを含み、

該指令情報出力手段は、前記指令情報として、前記可変表示装置における可変表示を開始させるタイミングで、可変表示時間を特定可能な可変開始指令情報、および、表示結果を特定可能な表示結果指令情報を出力するとともに、表示結果を導出表示するタイミングで、導出表示指令情報を出力し、

前記可変表示制御手段は、前記可変開始指令情報が出力されたときに前記可変表示装置における可変表示を開始させる制御を行なうとともに、前記導出表示指令情報が出力されたときに表示結果を導出表示する制御を行ない、

前記指令情報出力手段は、前記始動条件判別手段により前記始動条件が成立した旨の判別がなされてから所定期間経過後に前記可変開始指令情報および前記表示結果指令情報を出力し、

前記可変表示用判定処理手段は、前記所定期間内に前記所定の判定処理の実行を完了させることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 7】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 1 2  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 8】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 1 3  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 9】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 1 4  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 10】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 1 5  
【補正方法】 削除  
【補正の内容】  
【手続補正 11】  
【補正対象書類名】 明細書  
【補正対象項目名】 0 0 1 6  
【補正方法】 変更  
【補正の内容】  
【 0 0 1 6 】

〔作用〕

請求項 1 に記載の本発明によれば、次のように作用する。遊技機の遊技状態を制御する手段である遊技制御手段の働きにより、可変表示装置における表示を制御するための指令情報が出力される。可変表示制御手段の働きにより、遊技制御手段から出力された指令情報にしたがって可変表示装置における可変表示を開始させた後表示結果を導出表示する制御が行なわれる。遊技制御手段に含まれる始動条件判別手段の働きにより、可変表示装置における可変表示の始動条件が成立したか否かが判別される。遊技制御手段に含まれる可変表示用判定処理手段の働きにより、始動条件判別手段により始動条件が成立した旨の判別がなされたことに基づいて、可変表示装置における可変表示の可変表示態様を決めるために必要となる所定の判定処理が行なわれる。指令情報出力手段のさらなる働きにより、指令情報として、可変表示装置における可変表示を開始させるタイミングで、可変表示時間を特定可能な可変開始指令情報、および、表示結果を特定可能な表示結果指令情報が出力されるとともに、表示結果を導出表示するタイミングで、導出表示指令情報が出力される。可変表示制御手段のさらなる働きにより、可変開始指令情報が出力されたときに可変表示装置における可変表示を開始させる制御が行なわれるとともに、導出表示指令情報が出力されたときに表示結果を導出表示する制御が行なわれる。遊技制御手段に含まれる指令情報出力手段の働きにより、所定の判定処理の判定結果に基づいて決まる可変表示態様での可変表示制御を指令する指令情報が出力される。指令情報出力手段のさらなる働きにより、始動条件判別手段により始動条件が成立した旨の判別がなされてから所定期間経過後に可変開始指令情報および表示結果指令情報が出力される。可変表示用判定処理手段のさらなる働きにより、所定期間内に所定の判定処理の実行が完了させられる。このように

、始動条件が成立してから所定期間経過後に可変開始指令情報および表示結果指令情報が出力されるが、その所定期間内において可変表示態様を決めるために必要となる所定の判定処理の実行が完了される。つまり、可変開始指令情報および表示結果指令情報が出力される前の段階、すなわち、可変表示が開始される前の段階で所定の判定処理が完了されるのである。このため、遊技制御手段における可変表示制御に関する制御負担が可変開始後に偏り過ぎないようにすることが可能になる。その結果、遊技制御手段における可変表示制御に関する制御処理が円滑に行なえるようにすることが可能になる。

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 5 】

〔課題を解決するための手段の具体例の効果〕

請求項 1 に関しては、次のような効果を得ることができる。始動条件が成立してから所定期間経過後に可変開始指令情報および表示結果指令情報が出力されるが、その所定期間内において可変表示態様を決めるために必要となる所定の判定処理の実行が完了される。つまり、可変開始指令情報および表示結果指令情報が出力される前の段階、すなわち、表示が可変開始される前の段階で所定の判定処理が完了されるのである。このため、遊技制御手段における可変表示制御に関する制御負担が可変開始後に偏り過ぎないようにすることができる。その結果、遊技制御手段における可変表示制御に関する制御処理が円滑に行なえるようにすることができる。

【手続補正 2 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 3

【補正方法】削除  
【補正の内容】